

## 【道徳トランプの紹介】

①道徳トランプには、学校で過ごす際の1 3の葛藤場面をトランプ化し、どのような選択をするかにより、勝敗を決めるシステムです。

より高い価値を選択すると、勝ちになるというシステムを用いることにより、子どもたちをよりより方向に導けるのではないかと思い、考案・製作しました。

②小学校入学前の子ども、特別支援学級学校児童生徒、通常学級児童など、幅広く使うことができる。

③押谷由夫先生（元文部科学省教科調査官）から、道徳トランプに関して、高い評価をいただいている。

④慣れてくると、トランプの右下に掲載している「価値マーク」を右記のように消すことにより、よりイラストをしっかり見ようとします。

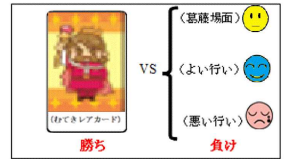
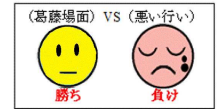


【悪い行い】

【葛藤場面】

【よい行い】

【勝ち負けの基準】



社会における自立を目指す上で大切な内容項目  
 「節度節制」「親切・思いやり」「個人の伸長」



社会における自立を目指す上で大切な内容項目  
 「節度節制」「親切・思いやり」「個人の伸長」



⑤ 5種類の道徳トランプ遊び方があります。

QRコードから動画視聴可能（各約1分）



道徳バトルゲームⅠ



道徳バトルゲームⅡ



道徳バトルゲームⅢ



ジョーカー抜きゲーム



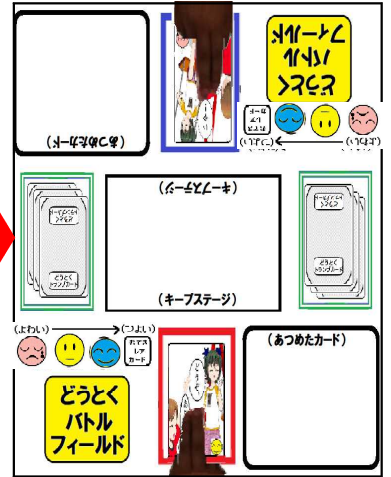
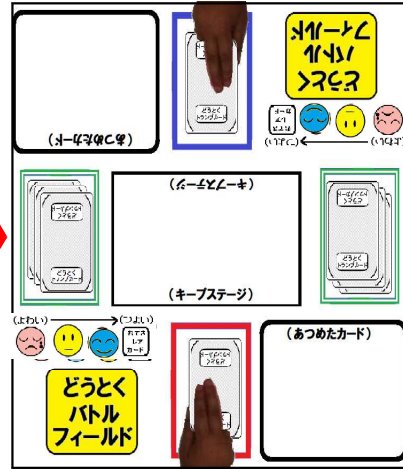
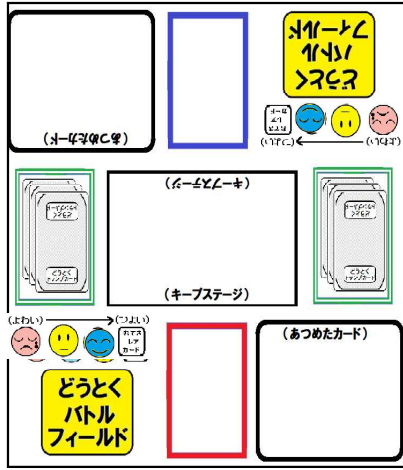
神経すいじゃくゲーム

## 【一番人気の「道徳バトルゲームⅡ」紹介】

- (1) 参加人数・・・2人 (2) 使用するカード40枚・バトルフィールド(下記掲載)  
〔3枚1ペア×13(39枚), 無敵レアカード(1枚)〕

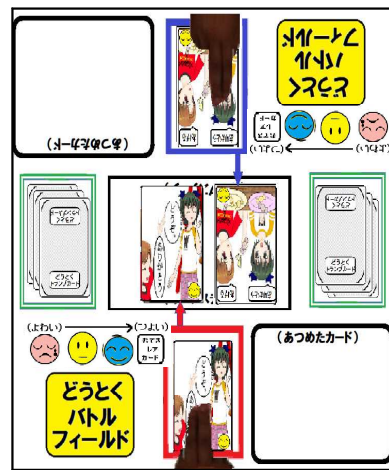
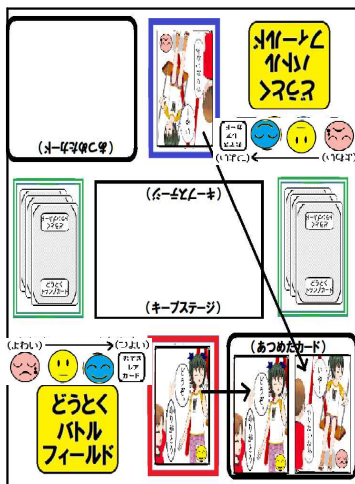
### (3) 基本的なルール

- ① 40枚のカードをシャッフルし、机の左右にカードの山を2つ作る。  
② 好きなカードの山から1枚取り、カードを「セット」と言いながら、手前に置く。  
③ 「オープン」と言いながら、伏せたカードを裏返し、一斉に見せ合いする。



(どちらのカードの山から取ってもよい。)

- ④ 手前のプレイヤーが勝ちとなり、自分のカードと相手のカードを右下に置くことができる。(手前は「良い行い」、向かいは「悪い行い」)



(著書掲載のバトルフィールド)

## 【ジョーカー抜きゲーム】

- (1) 参加人数・・・3人が基準  
(2) 使用するカード(27枚)  
・葛藤場面カード&よい行いカード×13組(26枚), ジョーカー(1枚)  
(3) 基本的なルール  
・「ばば抜き」と同である。  
・27枚のカードをシャッフルして参加人数分配る。  
・普通の「ばば抜き」は、同じ数字ならペアとなり、所定の場所に置く。今回のペアとは、「葛藤場面」と「その葛藤場面におけるよい行いカード」である。  
・手元にカードがなくなった人が勝ち。

※全ての道徳トランプは、付録として本著に掲載しています。また、わくわくする50の自作教材教具も掲載していますので、ご活用いただければ幸いです。





【道徳トランプサンプルデータ】(A4のまま厚紙に印刷)

著書に掲載しているトランプのイラストとは、異なります。

著書「特別支援わくわく教材教具50」(大江浩光著、押谷由夫解説、学事出版)

には、学校生活でよく見かける13の葛藤場面を下記の様なトランプにしています。更に、ジョーカーやレアカードなども掲載しています。

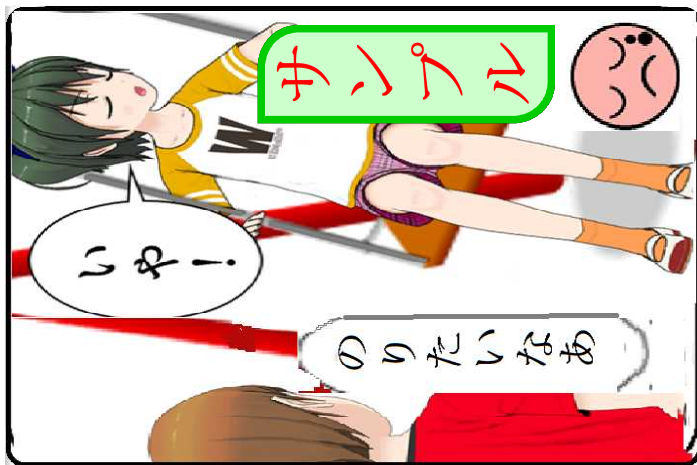
5つの道徳トランプを用いた具体的なゲームの掲載(QRコードで動画)や道徳バトルフィールドの実物が掲載していたり、QRコードでダウンロードできたりします。



(フランコ・葛藤場面)



(スリッパ並べ・葛藤場面)



(フランコ・悪い行い場面)



(スリッパ並べ・葛藤場面)



(フランコ・よい行い場面)

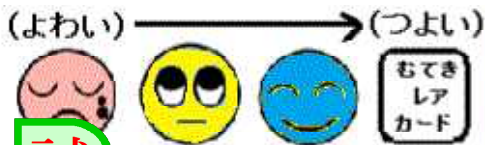
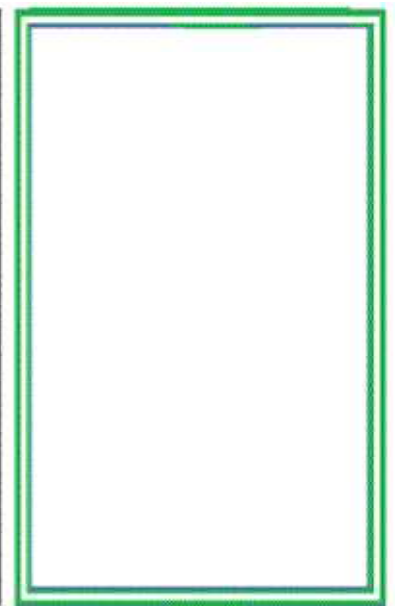
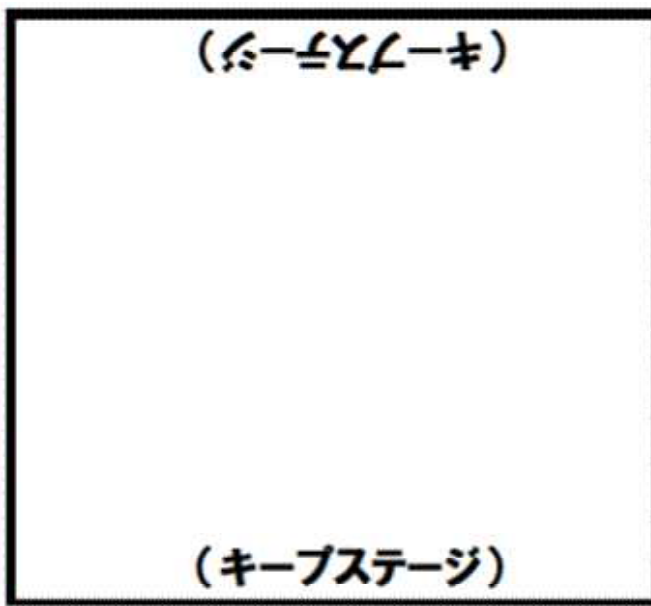
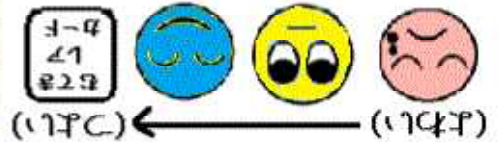
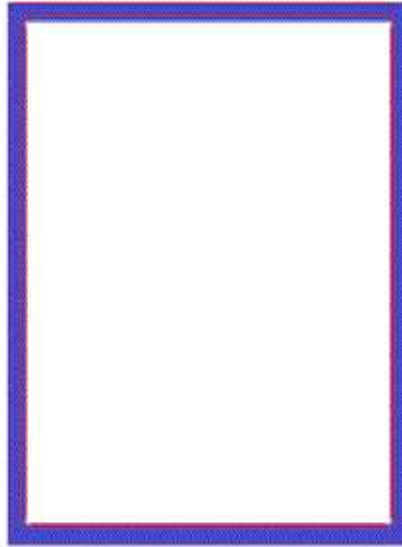
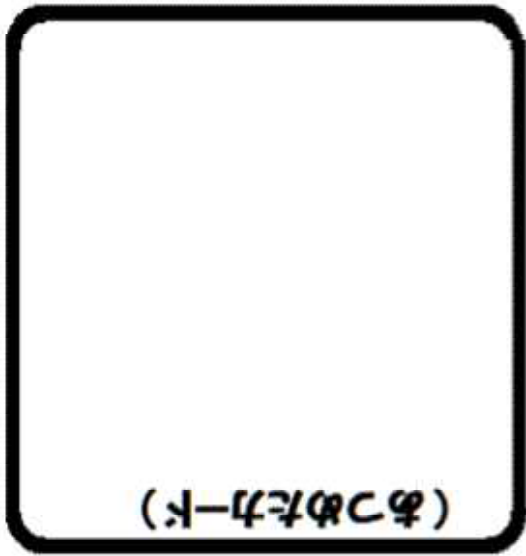


(スリッパ並べ・よい場面)

# 【道徳バトルフィールド】 (A 3 に拡大印刷)

著書に掲載しているバトルフィールドと異なり、試作段階のものです。

試作サンプル



試作サンプル

